

廃炉プロセス「PCV/RPV/建屋の解体」

検討対象「除染」

課題「除染、線量率の低減」

## ニーズ

### 1. PCV 内、建屋内を除染し、線量を低減したい。

PCV/RPV/建屋の解体：【長期 2】

#### 望ましい現状とその理由

- 燃料デブリを取り出した後も、PCV 内は高線量環境下であることが想定されるため、PCV/RPV/建屋を解体するためには、除染を行い線量を低減することが望まれる。

#### 理想と現実のギャップ／解決すべき課題

- 課題番号：解体 101 の成果に基づき、除染の可否・除染の方法を検討する必要がある。
- 特に、機器設備が破損しているため系統除染の難易度が高くなっていることに留意が必要である。
- 解体時の状況を現時点で詳細に推定することは困難であるため、現時点において具体的な課題を想定することは困難であるが、以下が求められることは想定される。
  - 遠隔で操作できること（被ばく量の低減）
  - 狭隘部で作業ができること
  - 場合によっては、除染ではなく遮へい技術が要求されることも考えられる。
- この際、デブリ取り出し時（アクセス含む）に用いた技術や、一般商用炉の廃止措置で用いた技術を最大限活用することが望まれる。（新たな技術開発を極力抑え、迅速かつ安価に技術を確立するため）

#### （参考）関連する研究課題

##### 実施されている研究課題

- R3 年度英知「福島第一原子力発電所の廃止措置における放射性エアロゾル制御及び除染に関する研究」

##### 検討されている研究課題

- 特になし

## 関連する課題

- 解体-101「炉内・建屋内の汚染状況の把握（解体のための）」
- 解体-301「炉内構造物の撤去、建屋の解体」
- 共-2「可視化技術」